

カセットバーナー
楽楽草焼

KYC-700

取扱説明書(保証書付)

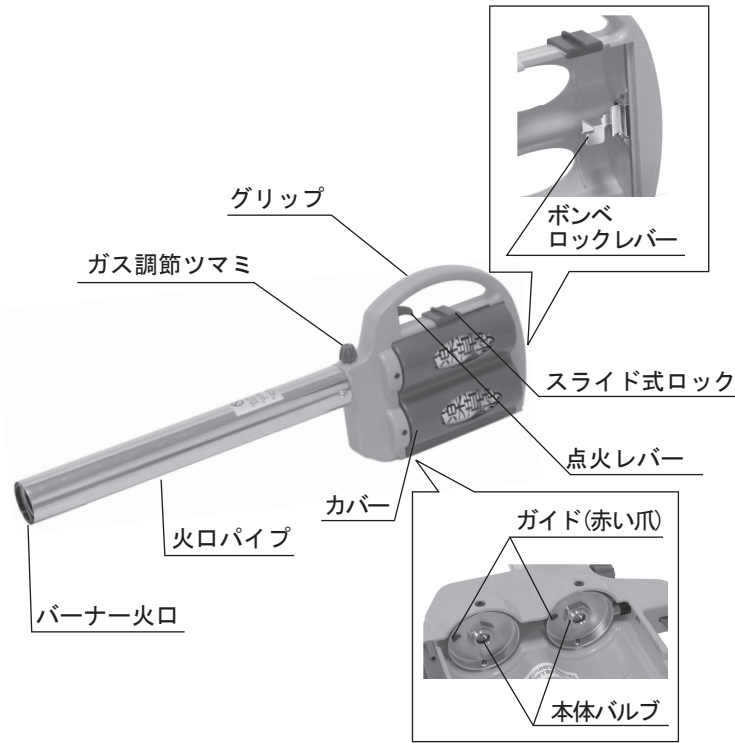
このたびは **Sakae Fuji** 楽楽草焼「KYC-700」をお買い求めいただきありがとうございます。

本製品は「火」を扱う製品です。取扱いを間違えますと、やけど・火災等の危害を及ぼす恐れがあります。取扱説明書の注意事項をよくお読みいただきからご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本製品は日本国内専用です。海外への持ち出しはしないでください。

絵表示の意味

- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・財産などの損害に結びつくもの
- 一般的な注意
- 一般的な禁止
- 必ずおこなう



仕様

型番	KYC-700	
本体寸法	全長734.5×高さ237×幅78mm	
本体重量	約1,350g (ボンベ含まず)	
火口径	φ55mm	
火炎温度	約1,400℃	ハイパワーボンベ 約1,400℃
火炎長さ	約450mm	約450mm
発熱量	約29.1kW(約25,000kcal/h)	約34.9kW(約30,000kcal/h)
連続燃焼	約15~40分	約15~30分
使用燃料	カセットボンベ KYC-250 (2本付属)	カセットボンベ PG300 (別売品)
点火方式	圧電点火式	

※発熱量は5分間の数値を1時間に換算したものです。
※上記数値は当社実験データによるものです。

お買い上げいただきました製品は万全を期していますが、点検で不備な点、及び製品について不具合や不明点があった場合、また修理をご依頼の際はご購入になった販売店・代理店または弊社へご連絡ください。

生産物賠償責任保険(PL保険)付
MADE IN JAPAN



〒441-0105 愛知県豊川市伊奈町佐脇原68
TEL (0533) 73-1190 (代)・FAX (0533) 73-1196
http://www.sakae-seiki.co.jp/
E-mail: info@sakae-seiki.co.jp

2018.12-1

無償修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、弊社が無償修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合、本品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店が弊社にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天変地異・公害による故障及び損傷
ニ) 保証書のご提示の無い場合
ホ) お買い上げ日、販売店等の記載がない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

保証書

カセットバーナー楽楽草焼	KYC-700
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	
取扱販売店・住所・電話番号	
ご芳名	
ご住所	
お電話	

榮製機株式会社

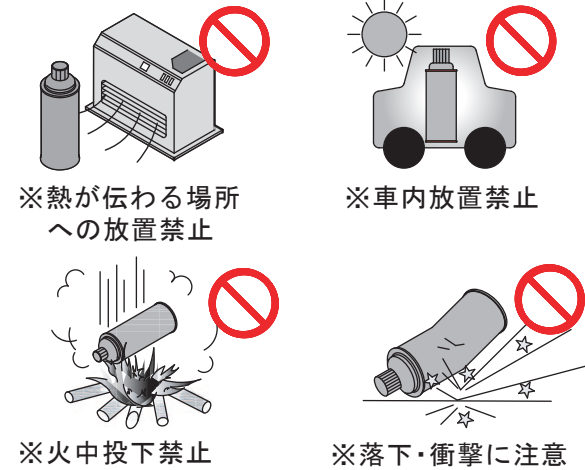
使用容器(ボンベ)取扱上の注意

- 容器(ボンベ)は、**Sakae Fuji** の表記がある専用容器(ボンベ) **KYB-250・G300・PG300**を必ずご使用ください。それ以外の容器(ボンベ)を装着した場合、ガス漏れやガスが出ない等の不具合が発生します。
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

警告

- 容器(ボンベ)が、高温になりますと、容器(ボンベ)内の圧力が過剰になり、爆発の原因となりますので下記の取扱いを守ってください。
 - ・容器(ボンベ)をストーブ(ファンヒーター)などの熱気のあたる場所、熱い砂の上や電磁調理器の上など熱の伝わる場所に放置しない
 - ・輻射熱を受けやすいような至近距離での燃焼はしない
 - ・車内、火気や直射日光の当たる場所で保管しない
 - ・容器(ボンベ)を火中へ投じない
 - ・容器(ボンベ)はバーナーから取り外し、キャップをして風通しが良く湿気の少ない40℃以下の涼しい場所に正立状態で保管する
- ガス漏れの原因となりますので下記の取扱いは守ってください。
 - ・容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない
 - ・著しく変形した容器(ボンベ)は使用しない
- 容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まないでください。一酸化炭素中毒や酸欠の原因となります。
- 容器(ボンベ)に付いたサビの原因となる水分(湿気)等はよく拭き取ってください。時々点検し、サビが発生している場合はガス漏れが無いことを確認し、出来るだけ早めに使用してください。
- 使用済み容器(ボンベ)への再充填はしないでください。ガス漏れ・爆発等の危険性が高く安全を確保することができません。

● 容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする場合はまだガスが残っています。容器(ボンベ)は完全に使い切ってから各自自治体の処理方法に従って捨ててください。



カセットバーナー取扱上の注意

● オリング等の消耗品(ゴム製)は経年により劣化します。(オリングは製品内部にも使用しています)劣化するとガス漏れの恐れがあります。ご使用前にガスの漏れを確認し、漏れている場合は危険ですので使用しないでください。(修理対応しております)

カセットバーナー取扱上の注意

警告

- やけどや火災の原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・点火時及び使用中にバーナー火口をのぞき込んだり人に向けたりしない
 - ・使用の際は消火器や水を入れたバケツなどを用意使用中は火の元に十分注意する
 - ・使用後は燃やした物に必ず水をかけ、火だねが残っていないことを確認する
 - ・火がついている場所から離れない
 - ・火をつけたまま持ち運んだり投げたりしない
 - ・バーナー火口から白い霧状のガス(生ガス)が出た時は点火しない(バーナー火口を真上に向け白い霧状のガスが出ていないのを確認してから点火操作をおこなってください)
- 容器(ボンベ)は正しく装着してください。正しく装着されていない場合、ガス漏れの原因となります。
- ガス漏れに気付いたら点火しない(点火レバーを引かない)でください。漏れたガスに引火してやけどや火災の原因となります。(ガスが漏れるとタマネギが腐ったような臭いがします)
- グリップ以外の場所を持って使用しないでください。やけどや火災の原因となります。



注意

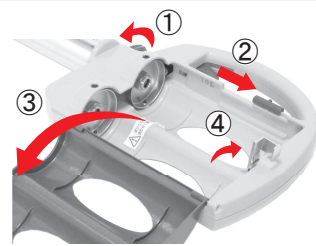
- 風の強い時や、可燃物(紙や油等の燃えやすいもの)や引火物(ガス、灯油、ガソリン、塗料等)の近くで使用しないでください。(火災予防の為)
- 燃焼熱がバーナーや容器(ボンベ)に伝わり、バーナー等を過熱するような使用はしないでください。特に容器(ボンベ)が高温になりますと、容器(ボンベ)内の圧力が高くなり爆発する恐れがあります。
- 火口部・空気孔にごみや異物等を付着させたまま使用しないでください。異常燃焼を起こし故障の原因となり危険です。
- 必ず風下を向いて点火し、使用してください。風上を向いて作業すると炎が手元まで来てやけどする恐れがあります。
- 自動点火装置の故障の原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・本製品を水などで濡らさない(雨天時は使用しない)
 - ・湿度の高い場所で保管しない
- 本製品の内部に砂利や虫(巣を作ります)などが入らない場所に保管してください。
- お子様の手の届かない場所に保管し、お子様には絶対に使用させないでください。また、お子様の近くでは使用しないでください。
- 絶対に分解・改造をしないでください。故障や事故の原因となります。
- バーナーは落下させないでください。落下させると樹脂部が割れたり、ガス調節機構の変形等により、ガス漏れの原因や点火不良となり使用出来なくなります。
- 本製品は屋外専用です。必ず屋外で使用してください。

① 容器(ボンベ)の取り付け

❗ 容器(ボンベ)は必ず2本装着してください。

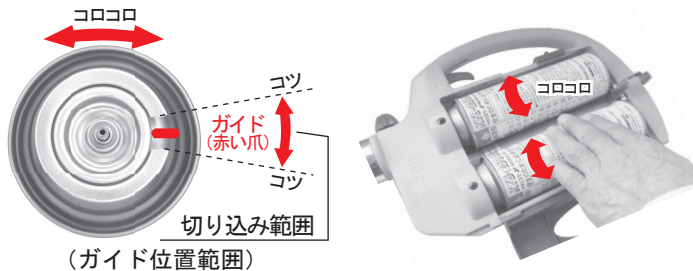
⚠ ガス調節ツマミを開閉とも強く締めすぎないでください。固着して動かなくなる場合があります。

- ① ガス調節ツマミの「OFF」を確認します。
- ② スライド式ロックを矢印の方向にスライドします。
- ③ 本体のカバーを開きます。
- ④ ボンベロックレバーを起こします。
- ⑤ 容器(ボンベ)を本体バルブに差し込んで、容器(ボンベ)の切り込み位置をガイド(赤い爪)に合わせて、セットします。(切り込み位置は、必ずグリップの反対側になります)



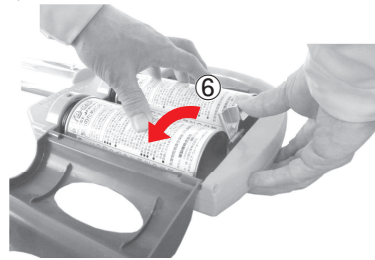
切り込み位置確認

⚠ 容器(ボンベ)を正しく取り付けないとガスが漏れて危険です。容器(ボンベ)を左右に軽くコロコロ動かして、ガイド(赤い爪)が容器(ボンベ)の切り込み範囲内でコツコツ当り、その範囲内に収まっているか確認してください。



⑥ 容器(ボンベ)を手で押さえて、ロックレバーを止まるまで倒して固定します。

⚠ ボンベロックレバーが硬くて倒れなかったり、ガス漏れの音と臭いがしたら、正しく装着されていません。もう一度手順を確認して取り付け直してください。



正しく装着し、ガスの臭いがない状態で「シュー」という音するのは、本体内部のパイプにガスが通っている音で、異常ではありません。

⚠ 液体のガスが漏れても、ガスに直接手で触らないでください。ガスに触ると凍傷になる恐れがあります。

⑦ 本体カバーを閉じてスライド式ロックをバーナー火口方向へスライドしてロックします。

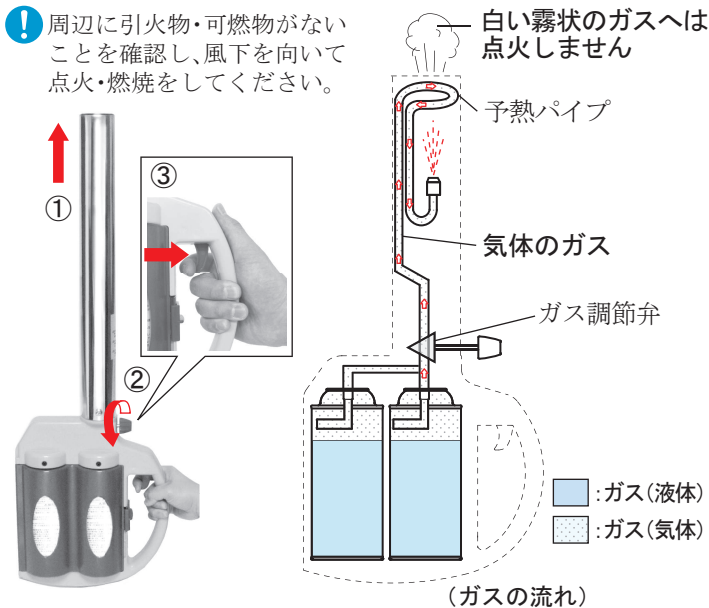
② 点火前の確認事項

ガス漏れ(シューという音、ガス臭)していないか確認してください。

⚠ 容器(ボンベ)装着後にガス漏れに気付いた場合はガス調節ツマミの「OFF」を確認してください。それでもガス漏れが続く場合は点火操作しないでください。装着不良で、やけどや火災の原因となります。

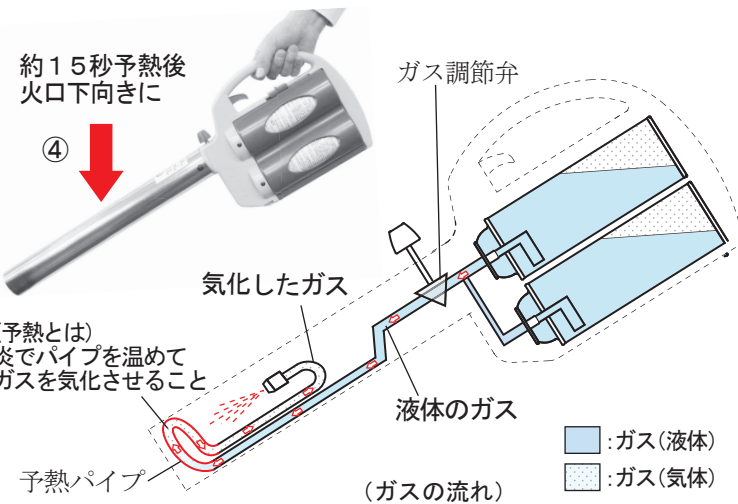
③ 点火

❗ 周辺に引火物・可燃物がないことを確認し、風下を向いて点火・燃焼をしてください。



- ① バーナー火口を真上に向けます。
- ② ガス調節ツマミを反時計回りに回し、ガスを少し出します。ボンベ装着時に混入した液体のガスが、白い霧状のガスになって出ます。その時は、しばらく火口を上向きのままにして、白い霧状のガスが出なくなるまで待ちます。
- ③ 点火レバーを引いて点火します。点火しない場合は、点火レバーを繰り返し引いてください。

⚠ 必ずバーナー火口を上向きにして点火してください。バーナー火口を下向きにして点火操作をすると、バーナー火口から地面に出た液体のガスが気化し、そのガスに引火して、赤く大きな炎が上がり大変危険です。



④ バーナー火口を真上に向けたまま約15秒予熱燃焼(使用環境により異なります)した後、バーナー火口を下に向けて使用してください。

⚠ バーナー火口を下向きにして、すぐ火が消えたり、炎が安定しない場合は予熱不足です。再度、バーナー火口を上向きにして点火・予熱をしてご使用ください。

❗ 作業中は、バーナー火口を下向きにして使用してください。バーナー火口を上に向けたまま連続燃焼すると、炎が極端に小さくなったり、失火したりします。

⚠ 左右に激しく振って使用しないでください。やけどや火災の原因となります。

⚠ 炎を小さくしすぎると、風で炎が消える場合があります。

⚠ 対象物に近付けすぎると空気不足により失火する場合があります。

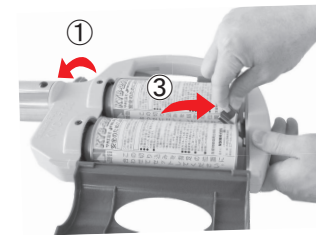
④ 消火

ガス調節ツマミを時計回り(「OFF」の方向)に回して消火します。ガス調節ツマミを閉じた後も、予熱パイプの中にガスが少し残っているので、消火に時間がかかる場合があります。必ず完全に消火したことを確認してください。

⚠ 使用後しばらくはバーナー火口付近が熱くなっているので、手などで触れないでください。

⑤ 容器(ボンベ)の取り外し

- ① ガス調節ツマミの「OFF」を確認します。
- ② スライド式ロックをバーナー火口と反対の方向へ止まるまでスライドさせ、カバーを開きます。
- ③ ボンベロックレバーを起こします。
- ④ 容器(ボンベ)を水平に少しスライドさせて、容器(ボンベ)の底部を軽く持ち上げ取り出します。



⚠ 一瞬ガスの漏れる音がしますが、異常ではありません。

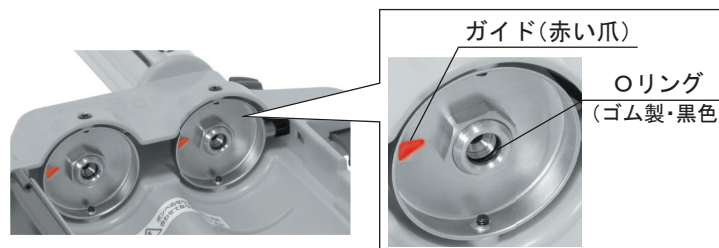
⚠ 容器(ボンベ)を取り外す時は、無理に引き抜かないでください。容器(ボンベ)の破損の原因となります。

⑤ ボンベロックレバーを戻し、カバーを閉じてスライド式ロックを火口側へ止まるまでスライドします。

日常の点検・手入れ

❗ 製品が十分に冷えてから必ず容器(ボンベ)を外した状態でおこなってください。

- ① 点火レバーを引き、バーナー火口内部で火花が飛ぶか確認する。火花が飛ばない場合、修理を依頼する(火花の確認は、バーナー火口の口元を手で覆うなどして暗くすると見やすいです)
- ② 容器(ボンベ)取り付け部のOリングに傷やゴミが付いていないか確認する。
 - ・ゴミが付いている場合、ウェットティッシュなどで軽く拭き取る
 - ・傷が付いている場合、修理を依頼する
- ③ プラスチック部がきれいか確認する。
 - ・汚れが付いている場合、布等で拭き取る(水洗いは故障の原因となりますのでおやめください)



⚠ 故障や破損など不具合と思われる製品は使用しないでください。思わぬ事故につながります。不具合の際は、販売店・代理店または弊社へご連絡ください。修理対応させていただきます。(お客様の安全の為、部品の販売はいたしておりません)

❗ 容器(ボンベ)をバーナーに取り付けたままの保管禁止
ご使用後は、製品が冷えてから下記防止のため、必ずバーナーと容器(ボンベ)を取り外して保管してください。

- 容器(ボンベ)接続部のOリングの変形によるガス漏れ
- ガス調節ツマミが不慮により開いてしまうことによるガス漏れ

❗ 保管の際は、高温多湿を避け風雨に当たらない場所に保管してください。

燃焼の際、特に注意していただきたいこと

⚠ 上向きでの連続燃焼禁止

- ・バーナー火口を上向きにして連続燃焼(木の虫焼き等)をすると、炎が極端に小さくなったり、失火したりします。
- ・上向きでの連続燃焼後すぐにバーナー火口を下に向けて、赤く大きな炎が上がり大変危険です。

❗ 燃焼中は必ずグリップを手で持って使用すること

- ・地面の上などに置いて使用しないでください。異常燃焼による故障の原因や、不慮の事故(火災等)となり大変危険です。
- 容器(ボンベ)内のガスは2本同時に同量は減りません。

火災に注意

風の強い日や火気厳禁の場所、木造建築物などの可燃物の近くでは絶対に使用しないでください。火災の原因となり大変危険です。使用後は燃やした物に必ず水をかけ、火だねが残っていないことを確認してください。



可燃物付近での使用厳禁



水をかけ消火を確認

故障・異常の見分け方

現象	原因	火力が弱い	点火しない 分火は出ている	ガスが出ない	ガスの臭いがする	炎が吹き切れる	消火しない 分火が止まらない	処置方法
容器(ボンベ)が冷えている		●						容器(ボンベ)を室温程度の所に1時間程度放置する
ガス噴出量が少ない		●	●					ガス調節ツマミにてガス量を多く調節する
ガス噴出量が多い			●			●		ガス調節ツマミにてガス量を少なく調節する
容器(ボンベ)の取り付け不良				●	●			容器(ボンベ)を正しく取り付ける
燃料が少ない		●	●					新しい容器(ボンベ)に交換する
点火装置の故障			●					点検・修理を依頼する
ノズルの詰まり		●	●			●		点検・修理を依頼する
本体バルブの故障※		●			●	●	●	点検・修理を依頼する

※ 容器(ボンベ)が取り外せない場合は、周囲に注意し、ガスがなくなるまで燃やし続ける、または、火気のない風通しのよい場所でガスをそのまま出し続けてください。

⚠ 点検時やその他いかなる場合でも、分解・改造をおこなわないでください。ガス漏れなど起こし、事故につながり大変危険です。

- バーナー火口先端部が赤熱するのは故障ではありません。